

## 質 問 事 項

該当の□にチェックをお入れください。

該当しない場合、ご意見がある場合は欄にお書きください。

【１】 ３市共同資源物処理施設建設は平成２２年３月に市議会で「白紙を含めた抜本的見直し決議」が出され、又、６月２３日庁議に於いて当市内の想定地<現東大和暫定リサイクル施設用地への施設建設の受け入れは不可能>とした東大和市としての結論をどう思いますか。

A. 正しい    B. 間違っている    C. その他

※<C>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【１－１】【１】にて<A>と回答された方はその理由についてお答えください。

複数回答可

A. 市民の健康への懸念    B. 地域環境への懸念    C. 市の財政難

D. 地域住民の意見を尊重    E. 建設用地が狭小

F. ３市共同資源化推進について（報告）平成２２年４月の内容を見て  
計画は困難だと判断した

G. その他

※<G>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【１－２】【１】にて<B><C>の方はその理由をご記入ください。

【2】 今後についても、平成22年6月の庁議の結論を尊重し、3市共同資源物処理施設の当市想定地での受け入れは不可能であるとの考えを維持されますか。お考えをお聞かせください。

A. 今後も想定地への建設は反対である

B. 今後の状況により建設に賛成する

B.今後の状況により建設に賛成するとお答えの方の理由をお聞かせください。

複数回答可

1. 今後は3市間の話し合いによっては、建設もあり得る

2. 今後、東大和市の財政が良くなった場合は建設もあり得る

3. その他

※<3.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【3】 3市共同資源物処理施設建設を不可能とする3市間での話し合いに他の2市に提示できる施策がありましたらご記入ください。

ごみ減量施策を第一に考え、小平・村山・大和衛生組合の課題である焼却施設建替えに際し、ゴミを高温で溶融する事でダイオキシンが完全に分解され、熱を再利用する、サーキュラー型の環境に配慮した焼却施設を建設する事で、資源物処理施設は必要ないと考えます。

【4】 他市の市長が協議拒否をしている中、東大和市は3市共同資源物施設建設計画の撤回に向けて、どのように円満解決すべきなのかお考えをお聞かせください。

他市の市長が協議拒否に関しては、当市の市長が判断を踏まずに、一方的に2市の市長に対し召集通知を提出した結果でありますので、今後の事業の方向性について、当市長の考えを他市に提示した上で、事務レベルによる調整を経て、3市の市長による協議が実現されるものと考えます。

【5】 今後、小平・村山・大和衛生組合との関係をどのように円滑に保っていくのか具体的な施策をお聞かせください。

3市共同資源物処理事業は、平成11年の理事会で承認された事項を前提として進められている事業ではありますが、施設建設想定地周辺の環境が様変わりし、現状では建設困難である事は誰もが理解しており、今後の事業の方向性について、4)でも述べましたように、当市長の考え方を2市に提示し検討いただくよう進めないと、関係修復は困難であると考えます。

【6】東大和市では容器包装プラスチックごみの処理（ペットボトルを除く）を民間委託しています。今後も民間委託を継続することについてどのようにお考えですか。

A. 賛成      B. 反対      C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【7】東大和市では容器包装プラスチックごみを除く、缶・ビン・ペットボトル等を現・東大和暫定リサイクル施設で行っていますが、その施設は作業による騒音の問題をかかえています。今後、どのような運用が市民や環境にとって有効と思いますか。お考えをお聞かせください。

A. 近隣住民からの苦情等は考慮せず、現状のままで運用を行う  
B. 近隣住民からの苦情等を考慮し、対策を実施して運用を行う  
C. 他の地域にリサイクル場を移す  
D. その他

※<D>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【8】将来、人口の減少化も進み、ごみの排出量も減って行くと推測されます。計画されています構成3市による資源物処理施設は多額な建設費用に加え高額な維持管理費も税金で賄うこととなります。

将来の財政圧迫要因となる可能性のある資源物処理施設（箱物）が必要とお考えですか。

A. 必要      B. 不必要

【9】今後の東大和市のゴミ処理全般について施策がございましたらご回答ください。

複数回答可

A. ゴミ減量化のためゴミ袋の有料化を導入したい  
B. 上物は作らずアウトソーシングを活用していく  
C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください

環境教育の更なる推進, 商工会との連携による、エコバック, 容器持参運動の推進や再利用できるビニ容器のリサイクル制度の推進 (国や都に働きかける) 等。

【10】最後に南街・立野・桜が丘地区を今後どのような地域として発展させていきたいか、お考えがあればご記入ください。

南街は木造住宅が密集, 震災時には家屋の倒壊等の被害が想定されており, 早急に耐震化推進の必要があります。立野は, 区画整理事業終了の見通しがつかない状況の改善。桜が丘は高層ビルが立ち並ぶ市内でも人口が大幅に増えている地域ですが, 学校・保育施設等の環境整備が充実しない問題の解決。

このように, 様々な課題がある地域でありますので, 地域の発展については, 多様なライフスタイルに対応する街づくり, 当市全体に言える事で申し上げます。高齢化社会に対応する街づくりの施策が必要であると考えます。

氏名 二宮 由子 印